

時又灯ろう流し由来

昭和の初め頃、長石寺のご住職を囲んで「時又仏教会」という集まりがあり、会の話の中で新しい御霊を送る「灯ろう流し」をしたらどうかと話が持ち上がりました。昭和三年頃、市田で行われるのを見てきて、翌年の八月二十三日の盂蘭盆に開催することになりました。十人程の仲間の会なので、大変なことでした。灯ろう集めは、自転車でいき、当時の伊那電が協力してくれ、飯田から時又まで無料で運んでくれたそうです。それが第一回の始まりで大成功に終わりました。その後、商栄会の主催に移行され、昭和五十五年には、飯田の三大祭の一つとして実行委員会組織に移行していきました。商栄会だけでは手が足りず、竜丘、龍江、川路の商工会の方々に、協賛金集めをお願いするようになり、祭りが大きくなるにつれ、自治会の役員の方々にもご協力を仰ぎ、交通安全委員会や環境委員会、消防団の皆さんに於いては、龍江、川路の皆様のご協力を仰ぐ、現在の形となりました。県外からのお客様も増え、臨時列車をお願いし、川路方面からはバスを巡回するようになりました。しかし、主体の時又地区も商店の減少等大きな祭りを支えていくのが、少しずつ重荷になってきているのが現状です。この祭りを継承していくには、多くの方のお力が必要となってきています。道路事情、警備体制などが現在に即するものが必要となっています。



先輩の皆様の労苦により、継承されてきた祭りの灯を消さない為にも、次世代に祭りを担っていただけるよう、天竜川の流域の皆様のお力も、お借りする中で後世に残していきたいものと思います。消えた灯は、再び起こすのは容易ではありません。是非、多くの皆様のお力をお貸しくださることを切にお願いします。

流れゆく灯ろうに「家のおばあちゃんのかな」など想いを乗せ、打ちあがった花火に「親父も好きだったよな」と・・・想いをたどり又、毎年仲間で来るのを楽しんでいた方達がお一人、先立たれたのを機に、追悼花火を打ち上げてくださる方もいました。東京から息子の死を悔やみ、灯ろうを流してくれるからと老夫婦がお見えになったこともありました。一夜の祭りには、そうしたドラマも秘められています。どうぞ、多くの皆様のお力をお貸しいただき、続けていかれますよう、願っています。(時又灯ろう流し地元事務局 宮嶋 聡子)



芝生って気持ちがいいね！

竜丘保育園の芝生化が始まって7年目となります。今年度は、暑さ対策も兼ねて保育園のテラス側へ、7月20日(水)に自治会役員の方と年長児が72株の芝生を植えました。

10月1日の運動会ではその場所が園児席となり、子ども達は涼しさも感じながら運動会に参加しました。職員室側から始まった芝生化ですが、徐々に範囲が広がり、子ども達にとっても良い遊び場となっています。土の園庭で行うどろんこ遊びとは一味違う、芝生の上での水遊びは気持ちの良い遊びの一つです。

また、裸足で飛び回り、転んでもいたくないので、寝転んだり、縄跳びやサッカーなどで遊んだり、虫探しをしたりと子ども達はこの芝生が大好きで、色々な遊びを見つけ遊ぶことが出来る大好きな場所です。(竜丘保育園園長 吉川 真有美)



連載シリーズ 第19回～紹介します～「時又地区の除草」

春～夏にかけて、時又区でも悩ましいのは草刈りです。何しろ天竜川治水対策事業の後、区に託された嶋公園にはあっという間に草が生い茂るし、時又灯ろう流し花火大会の準備は会場周辺と花火打上場所の草を刈らないと始まらないからです。春夏秋の除草作業には、区会議員が乗用草刈機モアで下刈りし、常会長・組長・委員会役員など多くの区民が参加します。他にも日ごろから自宅付近の道草を刈る人がいて、みんなの力で時又がきれいになっています。

一方で時又でも草木が伸び放題の家や畑が目立つようになりました。地元に住まない所有者は気にならないでしょうが、周りに住む人は大変です。こんな所からは“草ぼうぼうご近所迷惑税”などをいただいて除草費用に充てられたらいいのですが。(時又女性委員 土屋 紀代子)



時又地区草刈りの様子

令和4年度「市長と語るまちづくり懇談会」



「古墳は地域の宝、存在・価値を知ってもらい、足元から振興の熱量を高めて…」

9月5日午後7時から、竜丘公民館大ホールにて、飯田市から佐藤市長はじめ、教育長、企画部長、産業経済部長など5名、竜丘地区から竜丘古墳の会、各区関係者、竜丘小学校出身の緑ヶ丘中学校生徒など、総勢約60名が参加して開催されました。

竜丘地区は史跡、文化財に多く恵まれ、中でも古墳は140基を数えるなど、実質的に飯伊地域の古墳文化の中心地であり、さらには、塚原古墳群の景観・眺望は長野県随一ともいわれています。竜丘地区基本構想においては、古墳は地域の宝とし、古墳に関する多くの取り組みを行うこととされ、地域住民の思いを盛り上げ、できるだけ早期に塚原古墳群の公園化を目指すこととされています。こうしたことから、古墳等に関する活動の振り返りや現状の課題等をテーマとし、今後の活動のあり方を再認識する機会となりました。

意見交換を通じて市長から、まずはソフト面での取り組みの充実について地元と協力していきたいとの発言があり、下平自治会長からは、冒頭の言葉の通り、古墳等に対する地域住民意識の熱量を高めていくことが肝要との考えが示されました。

竜丘小学校出身の緑ヶ丘中学校の生徒さん5名にも参加いただき、インタビュー形式で古墳祭りなどの思い出や感想等を聞くことができたのは、大きな収穫といえるでしょう。(竜丘地域自治会 副会長 林 郁夫)



通院などの移動手段に！「福祉有償移送サービス」

令和2年7月から「福祉有償移送サービス」を行っています。このサービスは、障害を持つ方や高齢者を対象に、ボランティア運転手さんが目的地まで送迎するものです。

◆どんな人がこのサービスを使えるの？

要介護認定を受けている方（要支援者は審査が必要）・障害者手帳等を交付されている方で、自力歩行ができる方です。

◆利用料や利用時間は？

1時間ごとに500円、平日9時～17時に利用できます。

◆利用したい、サービスの事をもっと知りたい！

担当民生委員さんを通じて会員登録します。民生委員さんが分からない場合やご不明な点は、移送サービス事務局（Tel.26-9303）までお気軽にお問合せください。（福祉健康委員会）



この車両で
お迎えに行きます！

ドライバーさんも募集しています！！